



榊島 永二郎

新型コロナウイルスワクチン
3回目接種

榊島 転入者への接種券を配布するための、1・2回目接種確認は本人に確認をすることなくワクチン接種記録システム(VRS)で確認できるのか。

答弁 12月3日のデジタル庁の通知でVRSによる他自治体への接種記録照会の運用が変更されたので、4月以降転入者の接種履歴を確認の上、該当者に速やかに接種券を送付する準備をしています。

榊島 ファイザー社とモデルナ社のワクチンを接種計画の中でどのように運営していくのか。

答弁 ワクチンの供給量次第になりますが、市内に9つある医療機関でファイザー社ワクチンを接種し、接種センターでモデルナ社ワクチン接種を計画しています。

日本遺産申請認定されず

榊島 日本遺産申請に取り組みに当たり、多久市歴史文化基本構想の策定に平成28年度218万円、平成29年度484万円、日本遺産申請に令和元年度143万円、令和2年度400万円、合計1,245万円の事業費を使い、作成した情報やストーリーを、観光資源や教育資源として使うことを考えていないのか。

答弁 歴史文化基本構想や日本遺産のストーリーは、観光振興や学校教育と切り離せないと考えており、関係課と連携強化、体制づくり、協議等を行い、今後十分生かせるように企画、検討を行います。



多久市歴史文化基本構想冊子



田淵 厚

新型コロナウイルスワクチン
3回目接種

田淵 当初の感染症ワクチンの予防接種実施期間は、令和3年2月17日から令和4年2月28日であり、追加接種により延長されるが、その期間は決まったのか。

答弁 国は現行の期間を延長し、特例臨時接種は令和4年9月30日までとなっています。

田淵 報道では、オミクロン株の影響で、2回目摂取からの期間変更や、ワクチンの種類による需要の偏り、ワクチンの違いによる希釈の違い、摂取年齢の引き下げなどどう対応するのか。接種が8か月から6か月、1・2回目の主流のファイザー製に人気があり需給の偏り、2種類のワクチンを扱う接種の希釈の間違い、5歳から11歳迄の接種と並行する可能性があり心配や混乱があると思うが、多久市はどう対応されているのか。

答弁 5歳から11歳迄の接種の詳細



多久市ワクチン集団接種センター

については国からまだ正式な通知はありません。しかし、接種間隔の変更や対象年齢変更も可能性があることから、医師会や関係団体と検討しています。

田淵 接種証明書を発行することで、未接種者への差別に繋がらないか。接種を受けない人、5歳から11歳児の接種開始などで差別に繋がらないか心配、その点はどう対応されるのか。

答弁 接種したくとも身体上接種できない人、様々な理由で受けられない人への差別的な行為や誹謗中傷がないよう、改めて啓発を行います。



平間 智治

胃がん対策の充実を

平間 多久市の胃がん対策の実施状況は。

答弁 胃のバリウム検査は、集団検診と毎日検診で実施し、料金は9000円です。令和2年度は集団検診653人、毎日検診で15人が受診しています。胃内視鏡検査は50歳(60歳代(偶数年齢)、多久・小城市内の委託医療機関で個別検診として実施し、料金は3千円です。令和2年度は37名が受診しています。

平間 ピロリ菌抗体検査(血液検査)を受けた方は。

答弁 令和元年度が15名、2年度が7名です。

平間 ピロリ菌の発見と除菌の重要性についてWHO(世界保健機関)の学説を紹介。

● 感染は胃酸の分泌が不十分な幼少時に井戸水の利用や乳幼児への口移

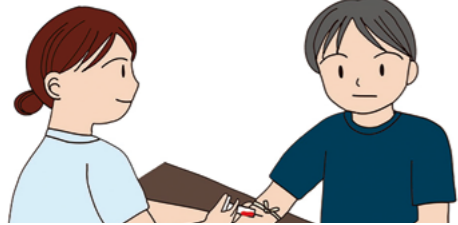
しなどによって感染。

● ピロリ菌に感染すると数週間から数か月で必ず100%慢性活動性胃炎になる。この病理学的異変をWHOはヘリコバクター・ピロリ感染胃炎と命名。

● 胃がんは約80%このピロリ菌が原因と正式に2014年WHOによって認められた。

除菌は全額負担約2万円が2013年に保険適用になり約6千円です。除菌に成功すれば再感染のおそれは低く、将来的に胃がん、胃潰瘍などの予防にもつながります。ピロリ菌検査費用の助成など今後の対策は。

答弁 県内10市のうち本市を含め5市がピロリ菌検査を実施しています。多久市を除く4市では全額、または一部費用の助成を行っています。が、多久市は検査費用の軽減については検討していません。まずは、ピロリ菌検査について対象者の方への啓発に努めていき



國信 好永

旧むつみ荘の再開を

國信 天山多久温泉タクアの交流スペース「彩り」の現状及び使用状況は。

答弁 平成30年7月にタクア内に交流スペース「彩り」を設け、集会等のスペースや温泉とともに活用し本年度4年目を迎えています。

交流スペースの利用者数については令和3年度で月平均115人の利用です。次に、温泉の利用についてですが令和3年度はコロナ禍の影響を受け利用者数が減っていますが令和3年度の10月末時点で延べ1万1,380人、月平均1,626人の利用となっております。

國信 旧むつみ荘利用者の方より再開の声があるが。

答弁 旧むつみ荘の施設は昭和54年建築で42年が経過し老朽化が進んでいるため再利用は考えていません。



旧むつみ荘

國信 「彩り」は、老人福祉センターとしての機能が働いていないと思われれます。

高齢者の利用者からは非常に使いやすい、元のむつみ荘が今の「彩り」よりずっとよいと意見があります。よって私は再度移転することを要望します。

答弁 意見としては、承りました。

國信 旧むつみ荘の再開、または代替施設の建設を要望します。